



## 2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月14日

上場会社名 tripla株式会社  
コード番号 5136

上場取引所 東

URL <https://tripla.io/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO  
代表取締役CTO

(氏名) 高橋 和久  
鳥生 格

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO  
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日

(氏名) 岡 義人 (TEL) 03-6276-6553  
配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けおよび個人投資家向け)  
(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第2四半期の連結業績 (2023年11月1日～2024年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	765	—	55	—	44	—	26	—
2023年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 43百万円(—%) 2023年10月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	4.67	4.51
2023年10月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2024年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年10月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	7,373	1,393	17.8
2023年10月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 1,311百万円 2023年10月期 ー百万円

(注) 当社は、2024年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年10月期の数値を記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,841	—	238	—	227	—	165	—	29.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2024年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社(社名) BOOKANDLINK PTE. LTD.、PT. SURYA JAGAT MANDIRI 除外 1社(社名) -  
Surehigh International Technology Inc.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年10月期2Q	5,804,122株	2023年10月期	5,562,300株
2024年10月期2Q	81株	2023年10月期	34株
2024年10月期2Q	5,748,952株	2023年10月期2Q	5,302,693株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社グループは前第2四半期連結累計期間について四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高が継続する中でも、新型コロナウイルス感染症に関する各種行動制限の緩和が進み、経済活動の正常化による個人消費やインバウンドなどの持ち直しがみられました。その一方で、円安基調の経済情勢を背景としたエネルギー価格の高騰、物価の上昇、各国の金利政策等により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループのホスピタリティソリューション事業と関連性がある宿泊業界においては、数年間に及び新型コロナウイルス感染症により事業環境の悪化に苦しんで参りましたが、2023年10月期の途中において、行動制限の解除、入国規制の緩和に続き、マスクの着用は個人の判断に委ねる方針の発表、新型コロナウイルス感染症を2類相当（新型インフルエンザ等感染症）から5類感染症へ移行する等の正常化に向けた動きが進んでいくとともに、宿泊者数は回復に向かいました。2024年10月期においても、宿泊者数においては正常化された状況が継続するものと想定しております。観光庁の統計によると、当事業年度における延べ宿泊者数（訪日外国人旅行者を含む）は、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の同月と比較し、106%まで回復いたしました。内訳としては、日本人の宿泊者数は101%となり2019年と同程度の水準まで回復し、訪日外国人の宿泊者数においては127%と、2019年を上回りました。2023年7月以降はほとんどの月で2019年同月を上回る宿泊者数が継続しております。なお、延べ宿泊者数については、国土交通省観光庁の発表する数値に基づき集計しております。

新型コロナウイルス感染症によって生活様式の変化を強いられていた状況から正常化へ向けて進行する中、当社グループホスピタリティソリューション事業においては、顧客価値向上のため、前事業年度に引き続き、主要サービスである「tripla Book」及び「tripla Bot」、宿泊業界特化型のCRM・MAツールである「tripla Connect」等の機能改善を行うとともに、2023年11月以降、広告運用代行サービス「tripla Boost」、オンライン旅行代理店サービスである「tripla.ai」、宿泊中の必要情報を集約した旅ナカ専用サービス「tripla Guide」を開発し、提供を開始いたしました。加えて、2023年3月には韓国の宿泊施設への販売を目的とし韓国支店を設立、2023年11月にBookandLink社の買収、2024年2月にはSurehigh社及びEndurance社の買収を行いました。当社の成長戦略の柱である海外展開を進めて参ります。

このような取り組みの結果、tripla Bookの施設数は、当第2四半期連結累計期間において、前事業年度末より173施設増の2,658施設、tripla Botの施設数は、当第2四半期連結累計期間において、前事業年度末より44施設増の1,710施設となりました。また、取扱高・GMV（Gross Merchandise Value）も、当第2四半期連結累計期間において、前年同四半期比108.8%増の54,903百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は765,048千円となりました。利益面については、営業利益は55,819千円、経常利益は44,734千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は26,859千円となりました。

なお、当社グループはホスピタリティソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、7,373,587千円となりました。

流動資産は6,584,715千円となり、主な内訳は、現金及び預金6,212,754千円であります。

固定資産合計は、788,872千円となり、主な内訳は、のれん658,698千円、繰延税金資産48,796千円であります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間における負債合計は、5,980,517千円となりました。

流動負債は5,314,000千円となり、主な内訳は、tripla Bookにおける宿泊代金の預り金4,820,543千円となります。

固定負債は666,516千円となり、内訳は長期借入金と退職給付に係る負債であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は、1,393,070千円となりました。

主な内訳は、資本金845,978千円、資本剰余金1,226,714千円、利益剰余金△772,647千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、6,084,774千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は372,846千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益44,734千円、tripla Bookにおける宿泊代金の決済の増加等による預り金の増加額326,058千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は388,168千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出18,408千円、敷金及び保証金の差入による支出26,293千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出343,530千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は619,194千円となりました。これは主に、長期借入金による収入637,535千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、前回発表予想から修正はございません。詳細につきましては、決算補足説明資料をご確認ください。今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	6,212,754
売掛金(純額)	220,318
その他	151,641
流動資産合計	6,584,715
固定資産	
有形固定資産	31,002
無形固定資産	
のれん	658,698
無形固定資産合計	658,698
投資その他の資産	
繰延税金資産	48,796
その他	50,375
投資その他の資産合計	99,171
固定資産合計	788,872
資産合計	7,373,587
<b>負債の部</b>	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	157,219
未払法人税等	39,054
賞与引当金	1,060
預り金	4,820,543
その他	296,122
流動負債合計	5,314,000
固定負債	
長期借入金	654,756
退職給付に係る負債	11,760
固定負債合計	666,516
負債合計	5,980,517

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(2024年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	845,978
資本剰余金	1,226,714
利益剰余金	△772,647
自己株式	△183
株主資本合計	1,299,862
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	11,970
その他の包括利益累計額合計	11,970
新株予約権	8,592
非支配株主持分	72,645
純資産合計	1,393,070
負債純資産合計	7,373,587

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業収益	765,048
営業費用	709,228
営業利益	55,819
営業外収益	
受取利息	305
その他	373
営業外収益合計	678
営業外費用	
支払利息	2,597
為替差損	9,031
その他	134
営業外費用合計	11,763
経常利益	44,734
税金等調整前四半期純利益	44,734
法人税、住民税及び事業税	16,349
法人税等調整額	△91
法人税等合計	16,258
四半期純利益	28,475
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,859



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	28,475
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	14,967
その他の包括利益合計	14,967
四半期包括利益	43,442
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	38,829
非支配株主に係る四半期包括利益	4,613

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 2023年11月1日	
至 2024年4月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	44,734
減価償却費	2,532
のれん償却額	10,268
株式報酬費用	9,652
受取利息	△305
支払利息	2,597
為替差損益(△は益)	△11,753
売上債権の増減額(△は増加)	△10,339
預り金の増減額(△は減少)	326,058
その他	20,476
小計	393,921
利息の受取額	305
利息の支払額	△2,597
法人税等の支払額	△18,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,846
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△18,408
敷金及び保証金の差入による支出	△26,293
敷金及び保証金の返戻による収入	63
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△343,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,168

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	20,955
自己株式の取得による支出	△87
長期借入れによる収入	637,535
長期借入金の返済による支出	△39,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	619,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,739
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	616,611
現金及び現金同等物の期首残高	5,468,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,084,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月13日開催の取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行に関し、2023年11月8日付で払込が完了いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が124,241千円、資本剰余金が124,241千円それぞれ増加しております。

また、ストック・オプションの行使による新株発行により、資本金が10,477千円、資本準備金が10,477千円それぞれ増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が845,978千円、資本剰余金が1,226,714千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホスピタリティソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。